

1年

5月に「きれいに花が咲くように」と種をまいたアサガオが、ぐんぐんと育っています。どのアサガオもたくさんの本葉が大きく育ち、つるが力強く伸びてきました。7月に入り、もう花が咲き出したアサガオもあります。生活科の観察カードには、「前より葉っぱが〇枚も増えたよ」「つるが腰の高さまで



伸びた」など、日々の

成長に驚きや喜びがたくさん書かれています。毎日、一生懸命に水やりをする子供たちの目はキラキラと輝いています。これから夏に向けて、アサガオはさらに大きくなり、色鮮やかな花を咲かせてくれることでしょう。愛情をもって大切に育てていく1年生を見守っていきたいと思います。



4年

体力測定が終わり、体育科の学習では「ビーチボール」に取り組んでいます。チームでボールをつなぐ難しさを感じる中で、レシーブやトス、アタックがうまくいかない友達に対し、「腕を引いて、ボールをこの部分に当てるといいよ」と優しく教えたり、ローテーションの仕方が分からなくなった友達に「こっちだよ」と声をかけたりする姿が見られます。また、これまでは教師の声を待って動くことが多かった子供たちですが、今では「みんなで楽



しく試合をしよう」と、進んでコート準備をしたり、積極的に審判の役割を引き受けたりするなど、みんなで協力しようとする気持ちが一段と高まってきました。自分たちで判断し、進んで動く姿は、高学年へのステップを一步踏み出したように感じます。

これからも、友達と協力しながら物事に取り組む喜びを感じながら、「自分から進んでやってみよう」とする姿を、見守っていきたいと思います。4年生の成長を担任一同、とても楽しみにしています。



6年

6月26日（金）に校外学習に行きました。「富山市街地のよさを学ぶ」という目的のもと、班ごとに见たい施設や行きたいお店を自分たちで決め、目的地までの行き方を考えました。事前の話合いでは、「譲り合う心」を大切にしていることが伝わる場面に出会うことができました。行きたい場所が重なったときには、「私は、家族と美術館に行けるから、〇〇さんの行きたい富山城に行こう」「多数決ではなくて、みんなで話し合ってどちらに行くか決めよう」など、仲間の思いを大切にし、譲り合いながら活動を進めようとする温かい気持ちが伝わってきました。子供たちは、「自由」を与えられながらも、「本当の自由」とは、自分勝手に決めたり行動したりすることではなく、互いの思いを大切にしながら自分たちで自己決定することだと感じ取っていました。さらに、素敵だと感じたことは、当日の子供たちの様子です。「1列で歩く」「手を挙げて横断歩道を渡る」「挨拶をする」「時間を守る」など、当たり前のことを校外学習でもしっかりと実践していました。学校生活でできているからこそ、校外学習でも自然とそれができるのだと思います。1学期は残り1か月。最高学年として、藤ノ木小学校を引っ張っていく姿を期待しています。

